

令和6年10月25日

会員各位

岐阜県保育研究協議会
会長 可児 亨

令和6年能登半島地震にかかる被災地支援について（ご報告）

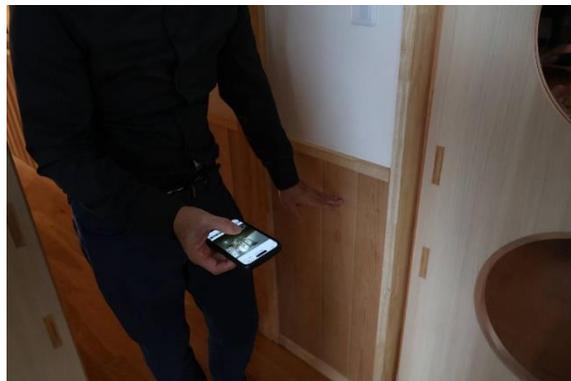
保育事業の推進につきましては、日頃より格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、令和6年能登半島地震にかかる「岐阜県保育団体被災地支援募金」につきましては、皆様のご協力に心より感謝申し上げます。



10月23日（水）、（一社）岐阜県民間保育園・認定こども園連盟の役員が2団体を代表して、9月の豪雨で再び大きな被害を受けた輪島市を訪問し、「和光幼稚園（幼保連携型認定こども園）」へ義援金をお届けしました。

被災当日は土曜日の保育中で、水は静かながら速いスピードでテーブルの脚の高さまでみるみる上がってきた。テーブルの上に置いていたものは無事でしたが、低い位置にあったものは水に浸かって使えなくなりました。事務所・保育室の棚の奥には清掃や消毒を済ませた今もドロが残っていて、ニオイやカビ等が発生する可能性があり、衛生上放置ができない状況とのことです。



清掃後、腰壁として生木を貼ったところも反ってしまったこと。空調の室外機はメーカー補償外でとりあえず基盤交換をして動かしたこと。給食室のボイラーは浸水し使用ができなくなり、衛生面の対応も必要な状況であることもお聞きしました。

なお、能登半島地震で全壊した隣接するお寺の本堂や庫裏は解体途中で、震災後解体を請け負っている業者が水害の復興に向かうような状況もあり、中断したままとのこと。また、お寺の特に金属は運び出したものの盗難によりなくなってしまった事や、震災後、大切な品を保管するために仮設した倉庫が、豪雨に遭ったことでダメになってしまったということもあったそうです。



今回は、震災に遭いながらも残った園舎を中心に何とか頑張ろうと思いはじめたところへの災害で、さすがに心折れましたと語られた藤山園長でしたが、それでも豪雨災害直後からボランティアが入り、職員の皆さんとともに1週間という短期間で保育を再開されたエネルギーには頭が下がりました。

訪問時はちょうどお昼寝時で、たいへんな状況の中、園児さんが安心して眠る姿が印象的でした。

令和6年能登半島地震および令和6年奥能登豪雨による被災地支援につきましては、下記「岐阜県保育団体被災地支援募金」にて引き続き受付をいたします。

募金を検討・計画されている皆様におかれましては、何卒ご協力よろしくお願い申し上げます。

【岐阜県保育団体被災地支援募金 振込口座】

金融機関： 十六銀行 県庁支店 口座番号： 普通預金 1406686
口座名義： 災害義援金 岐阜県保育研究協議会 会長 可児 亨 (かに とおる)
※ 金額の定めはありません。法人・施設・団体・個人のいずれでも結構です。
※ 振込手数料はご負担願います。
※ 窓口でお振込みの際、銀行によっては「災害義援金」を削除した口座名義でお振込みいただく場合があります。

問合せ先： 岐阜県保育研究協議会

TEL：058-201-1562 Mail：hoiku@winc.or.jp